# TOTO

# 小型電気温水器（元止め式）

## 湯ぽっと
## REAH03型/REAK03型/RECK03型/REAM03型（壁掛けタイプ）

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

## 1 安全上の注意

### 安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、商品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示は、次のようになっています。
内容をよく理解して正しく取り付けてください。

| 表　示 | 意　　味 |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

絵表示については次の意味があります。

| 絵表示 | 意　味 | 絵表示 | 意　味 | 絵表示 | 意　味 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⃠ | 一般的な禁止 | ⏚ | アースを接続せよ | ❗ | 必ず実行 |

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」に従って各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

商品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。
なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

### ⚠警告

| | |
|---|---|
| 分解禁止 | **修理技術者以外の人は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない**<br>感電や故障の原因になります。 |
| 水場での使用禁止 | **水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない**<br>故障、感電の原因になります。 |
| 禁　止 | **屋内用のため、屋外には設置しない**<br>感電や故障の原因になります。 |
| | **水・油・洗剤などがかかる位置に電気温水器本体および電源プラグ用のコンセントを設けない**<br>感電や故障の原因になります。 |
| | **電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない**<br>傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 |
| | **指定する電源以外では使用しない**<br>ヒーターの断線・火災などの原因になります。 |
| | **ガタついているコンセントは使わない**<br>火災や感電の原因になります。 |
| アース接続 | **電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う**<br>誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。 |

# 1 安全上の注意（つづき）

## ⚠警告

| | |
|---|---|
| 接触禁止 | **雷が発生しているときは、電源プラグに触れない**<br>感電の原因になります。 |
| 必ず実行 | **漏電遮断器を取り付ける** 感電や火災の原因になります。 |
| | **開梱後、不要になった梱包材は速やかに処分する**<br>段ボールやビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。 |

## ⚠注意

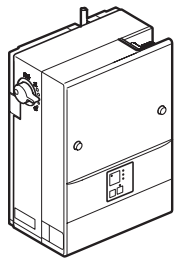
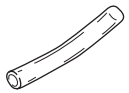
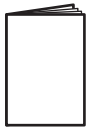
| | |
|---|---|
| 禁　止 | **タンク内が満水になっていないときは、絶対に「沸上げ運転（電源）」スイッチを入れない**<br>空焚きとなり、故障や事故の原因になります。 |
| | **水道水以外は通水しない**<br>井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。 |
| | **商品に強い力や衝撃を与えない** 故障や水漏れの原因になります。 |
| | **専用水栓の吐水口にホースや浄水器などの抵抗となるものを接続しない**<br>機器の破損や水漏れの原因になります。 |
| 接触禁止 | **吸気栓に触れるときは、タンク内の湯を出し切って水になっていることを確かめてから行う**<br>やけどをするおそれがあります。 |
| 必ず実行 | **水抜きを行うときは、必ず「沸上げ運転（電源）」スイッチを「切」にする**<br>空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。 |
| | **給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ２杯（約20L）程度の水を捨てる**<br>フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。 |
| | **当商品は寒冷地対応品ではないため、凍結のおそれのある場合は、必ず凍結予防処置（保温材巻、電気ヒーターなど）を行う**<br>凍結破損し水漏れするおそれがあります。 |
| | **必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける**<br>凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。 |
| | **必ず専用水栓を使用する** 水漏れの原因になります。 |
| | **フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う**<br>水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 |

## お ね が い

| |
|---|
| 給水圧力は最低必要水圧（流動時）0.07MPa・最高水圧（静止時）0.75MPaです。この圧力の範囲内でご使用ください。<br>（0.07MPa未満で使用すると流量が少なくなります。） |
| 取扱説明書内の保証書に、取付店または販売店名およびお引渡し日を必ず記入してください。 |
| 必ずフィルター付き 止水栓（必要別売品）を取り付けてください。 |
| 給水管にはフレキシブル管をご使用ください。<br>（鋼管などで接続されると、シール剤などが内部に入り、作動不良を起こす場合があります。） |
| 空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工に起因する不具合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。 |
| 天井裏など日常点検ができない場所への設置は避けてください。 |

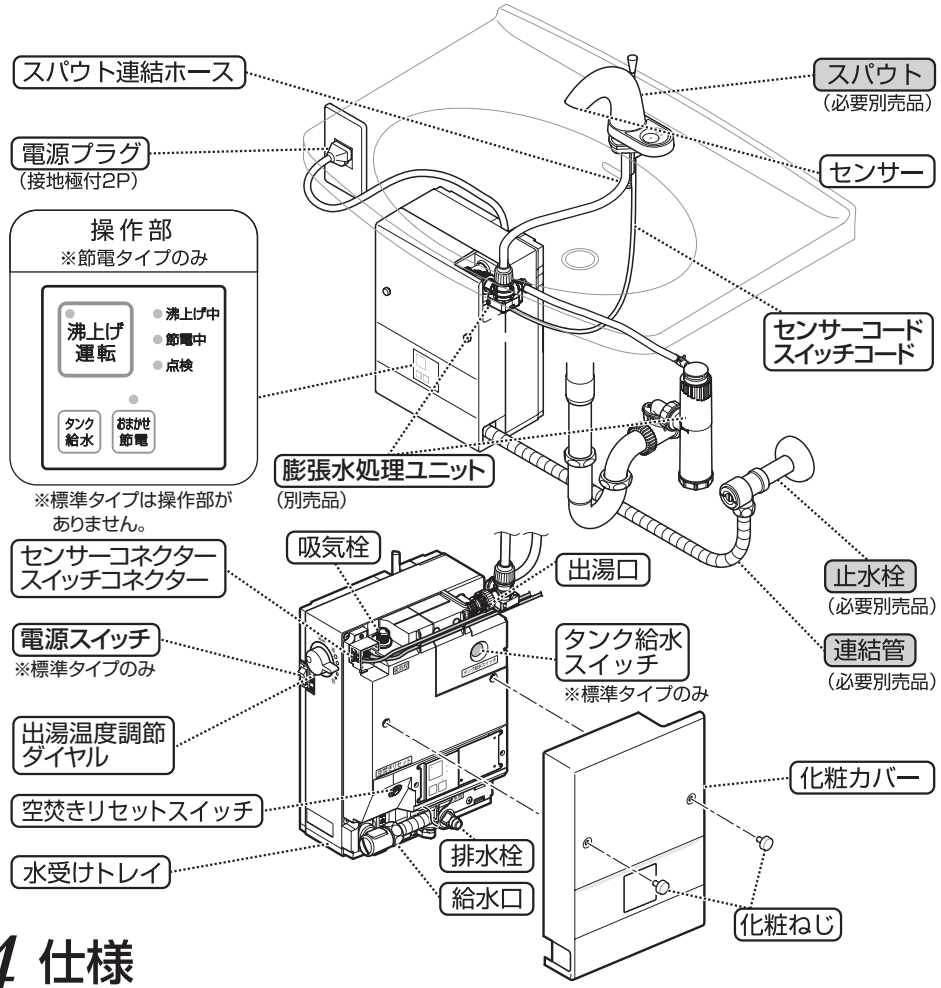
# 2 部品の確認

**まず、次の部品があることを確認してください。**

| ①電気温水器本体 | ②施工説明書、自動吐水ラベル、水抜きチューブ、取扱説明書（保証書付）、 | ③取付金具類 |
|---|---|---|
|  <br>図は節電タイプ | <br>施工説明書（本紙）<br>自動吐水ラベル<br>水抜きチューブ（L=300mm）<br>  <br>取扱説明書<br>  <br>お客様にお渡しください | 木ねじ（φ5.1×32）×3<br>皿タッピンねじ（φ4×10）×1<br>固定金具<br> <br>底部固定金具<br> |

# 3 各部の名称

※図はＡタイプ（TENA61AH型）とセットの場合




# 4 仕様

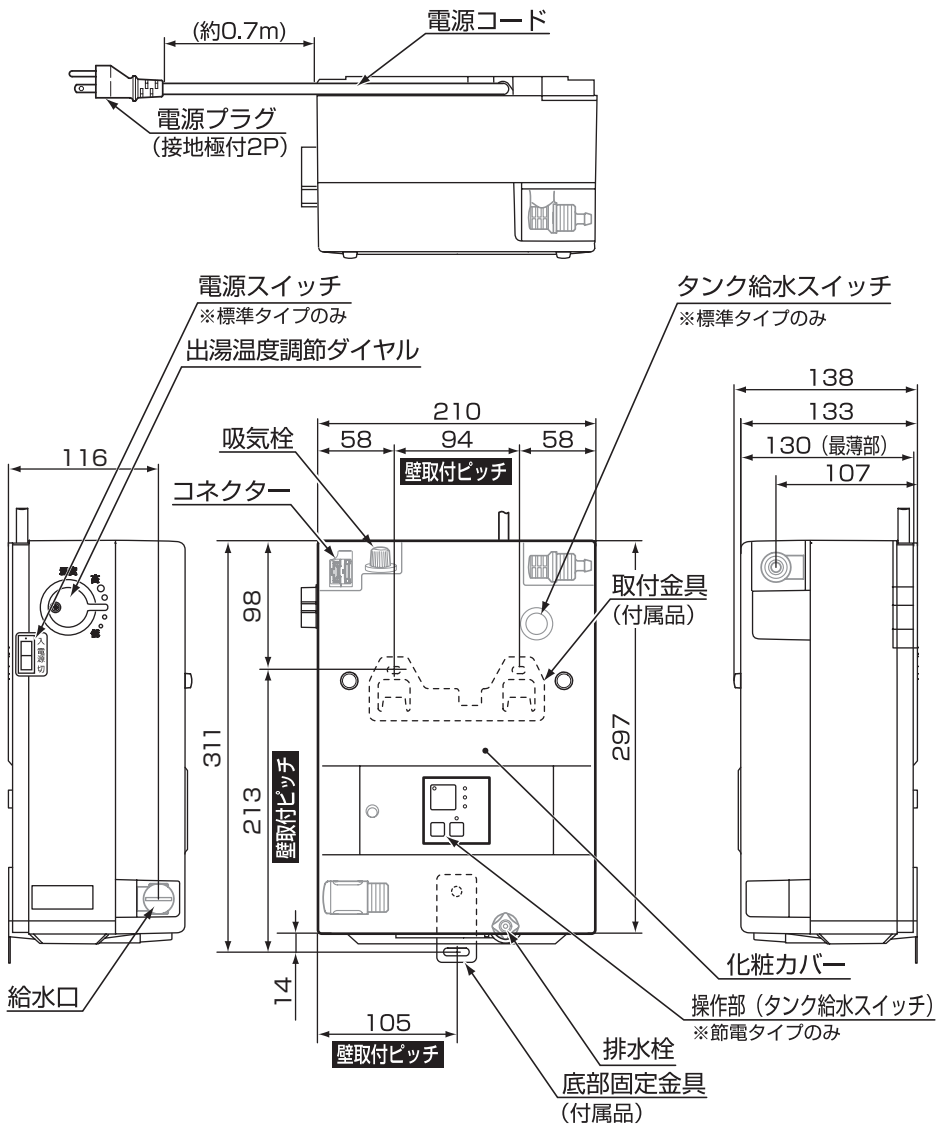
●給水方式　：元止め式
●出湯温度　：約36℃（ただし出湯温度調節ダイヤルで調節可能）
※給水温度約 15℃、ダイヤル位置センターの場合
●出湯温度調節範囲の目安　（給水温度 約　5℃）：約31～約35℃
※　（給水温度 約15℃）：約32～約38℃
（給水温度 約25℃）：約32～約37℃
●沸き上げ温度　：約75℃
（おまかせ節電保温時 約60℃または約55℃）
●安全装置　：手動復帰式バイメタル　温度ヒューズ
●商品質量（満水時）　：約4.5kg
（約7.0kg）
●使用環境温度　：1～40℃(※)
●最低必要水圧（流動時）：0.07MPa
●最高水圧（静止時）　：0.75MPa
●電圧　：AC100V
●電源コード　：約 0.7m

(※) 環境温度、および水温が高い場合は、使用環境温度範囲内においても一瞬設定温度よりも高温の湯が出る場合もあります。

■詳しくは取扱説明書を参照ください。

# 5 寸法図

（単位：mm）



# 6 別売品一覧 ★は必要別売品です。

| 品　名 | 形　状 | 品　番 | ワンプッシュ式排水金具対応 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| ★スパウト（Aタイプ） | | TENA61AH 型（湯水切り替えスイッチ付き） | ○ | 専用自動水栓 |
| | | TENA40AH 型 | – | |
| | | TENA41AH 型 | ○ | |
| ★スパウト（グースネックタイプ） | | TEN84GH型（湯水切り替え・手動スイッチ付き） | – | 専用自動水栓（電気温水器側定流量弁の交換が必要） |
| | | TEN85G1H 型（湯水切り替え・手動スイッチ付き） | ○ | |
| ★スパウト（タッチスイッチタイプ） | | TLN22TE 型（温水・水スイッチ付き） | – | 専用タッチスイッチ水栓（電気温水器側定流量弁の交換が必要） |
| ★スパウト（コンテンポラリタイプ） | | TENA12AH型 | – | 専用自動水栓 |
| | | TENA12BLH型 | – | |
| ★スパウト（壁付きタイプ） | | TEN120AH型 | – | 専用自動水栓（電気温水器側定流量弁の交換が必要） |
| | | TEN122AH型（湯水切り替えハンドル付き） | – | |
| | | TEN120ABH型（節水タイプ） | – | |

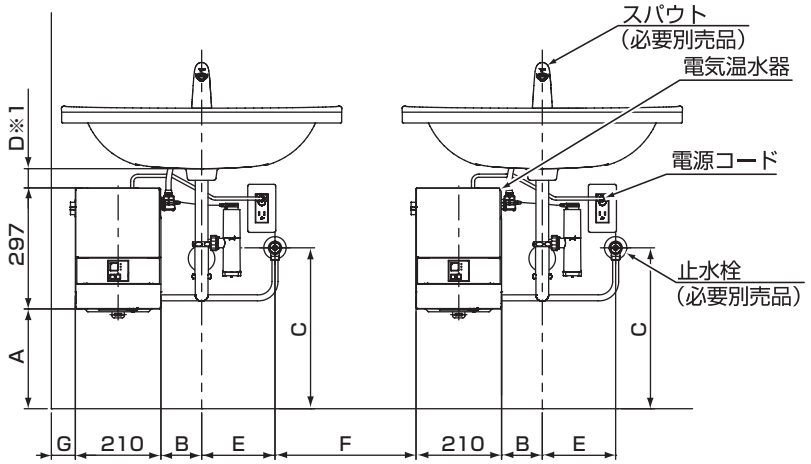
※ワンプッシュ式排水金具対応品は、別途ワンプッシュ式排水金具が必要となります。
※既存の排水金具にスパウトの取り替えを行う場合は互換性に注意してください。
（P.7「スパウトの仮締め」参照）

| 品　名 | 形　状 | 品　番 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ★アングル形止水栓 | | TL347CU | 給水用フィルター付き（壁給水用）（開閉工具付き） |
| | L | TL347C1R | 給水用フィルター付き（床給水用）（開閉工具付き）（L=242mm） |
| | | TL347C2R（壁掛ハイバック洗面器用） | 給水用フィルター付き（床給水用）（開閉工具付き）（L=155mm） |
| ★ストレート形止水栓 | L | TL348C17（MVHG、MVHF 用） | 給水用フィルター付き（床給水用）（開閉工具付き）（L=476mm） |
| ★連結管 | L | RHE436-15 | L=150mm |
| | | RHE436-20 | L=200mm |
| | | RHE436-30 | L=300mm |
| | | RHE436-35N | L=350mm |
| | | RHE436-40 | L=400mm |
| | | RHE436-45N | L=450mm |
| | | RHE436-50 | L=500mm |
| | | RHE436-60 | L=600mm |
| | | TN65LX75 | L=750mm |
| | | RHE140 | L=850mm |
| 膨張水処理ユニット | ホース長さL=800mm<br>排水管接続径 φ32 | RHE710 | – |
| ウィークリータイマー※1 | | RHE657R | 外付けのウィークリータイマー |
| | | RHE658R | 凍結防止機能の付いたタイマー |

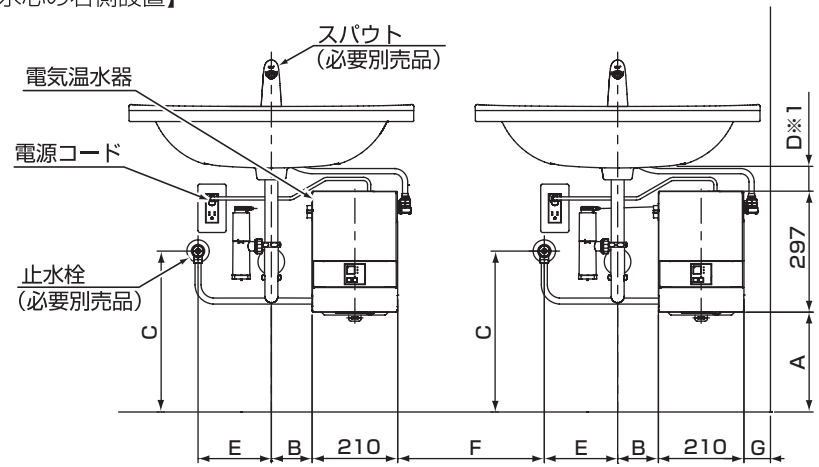
※1:節電タイプの場合、ウィークリータイマーとのセットはできません。

# 7 設置条件

【排水心の左側設置】（標準設置）　（単位：mm）




【排水心の右側設置】




A 寸法：100 以上
（車いす対応の場合 250 以上）
B 寸法：　50 以上
C 寸法：250 以上
D 寸法：　50 以上

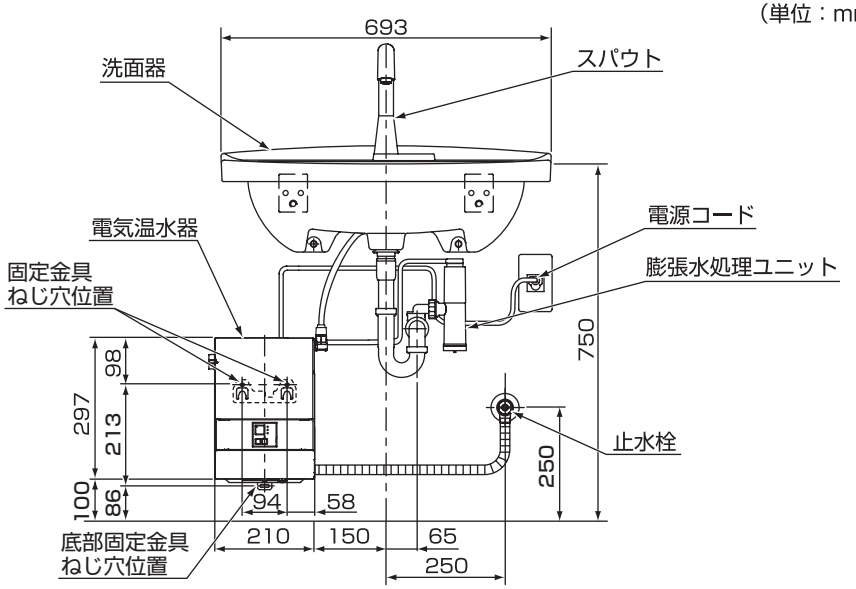
E 寸法：　75 以上（膨張水処理ユニット無）
　　150 以上（膨張水処理ユニット有）
F 寸法：　45 以上
（止水栓の施工時、操作時に必要な寸法）
G 寸法：　30 以上（膨張水処理ユニット無）
　　45 以上（膨張水処理ユニット有）

※1　施工時、メンテナンス時に必要な寸法
（洗面器下端から電気温水器天面までの距離）

# 8 施工例

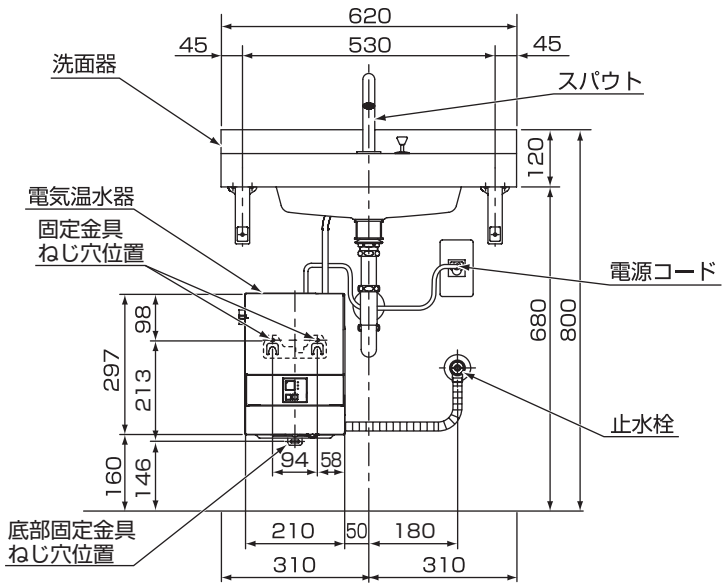
【設置例（洗面器 L260C の場合）】（膨張水処理ユニット：有 壁給水）

（単位：mm）



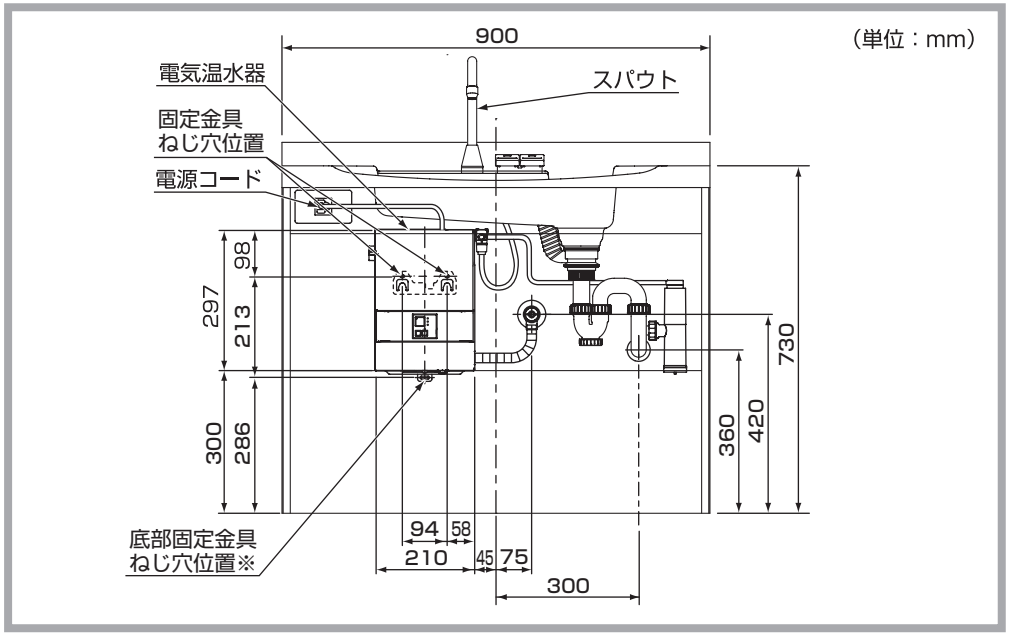

【設置例（カウンター MK50 の場合）】（膨張水処理ユニット：無 壁給水）

（単位：mm）

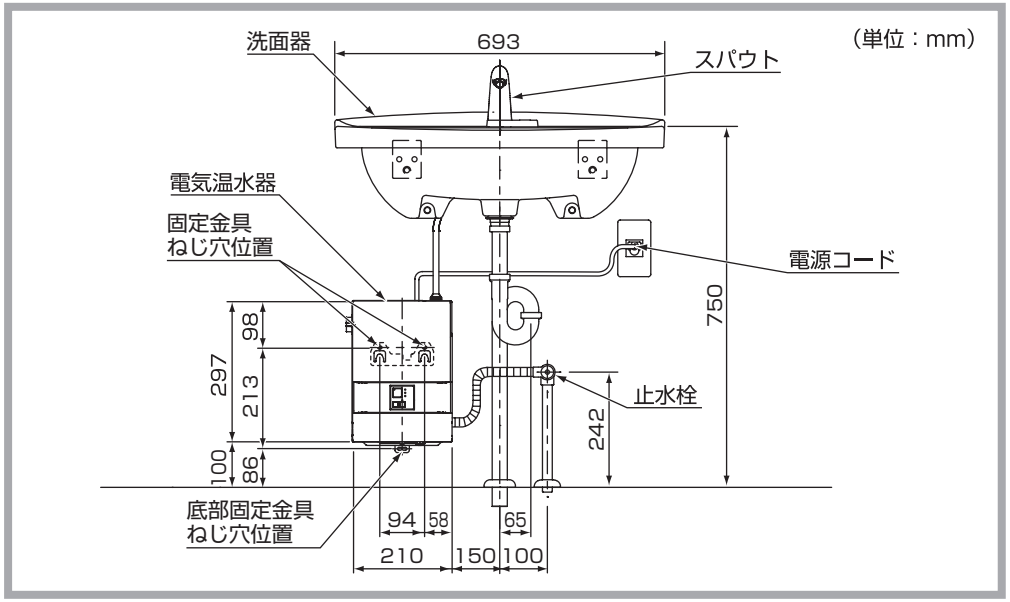


# 8 施工例（つづき）

【設置例（カウンター MVHF の場合）】（膨張水処理ユニット：有 壁給水）




【設置例（洗面器 L260C の場合）】（膨張水処理ユニット：無 床給水）



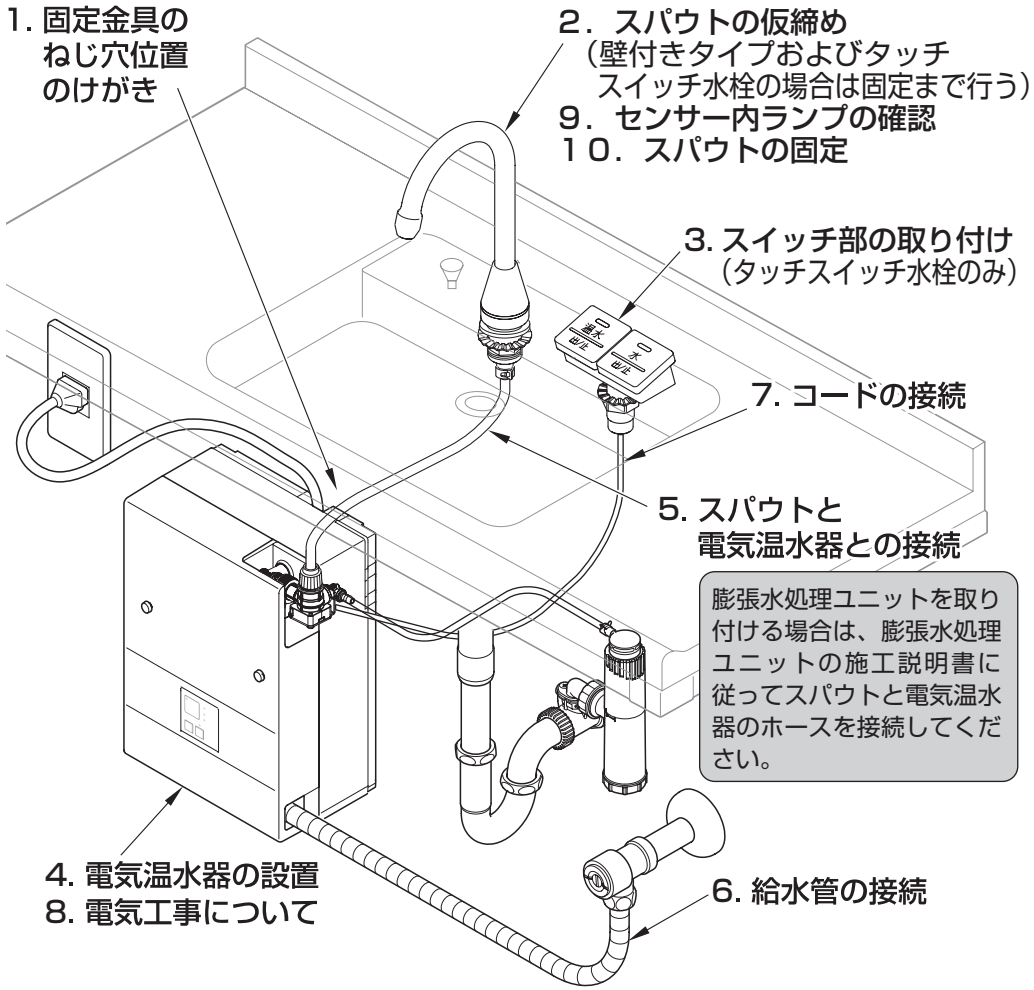

※カウンター（MVHF）に同梱されているスペーサーを使用して固定してください。

# 9 取付手順

**注 意** 施工の際は、けが防止のため手袋などを着用して行ってください。

**取付手順は以下の通りです。**

※図はタッチスイッチ水栓（TLN22TE 型）とセットの場合

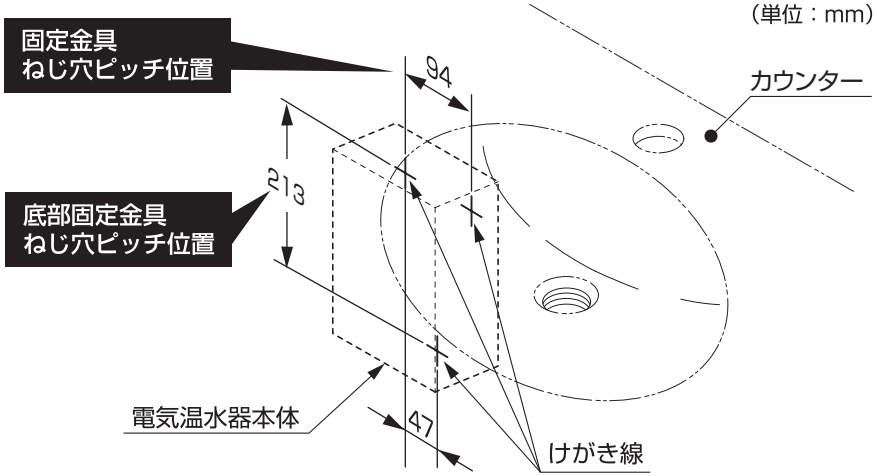



**注 意** クリーンドライ（温風乾燥器）などとのセットではクリーンドライのセンサービームが陶器内に入らないように、それぞれを離してセットしてください。
※インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。

# 9 取付手順（つづき）

## 1．固定金具のねじ穴位置のけがき

「7. 設置条件」を参考にして 電気温水器本体の固定位置を決め、「5.寸法図」を参考に、壁に固定金具および底部固定金具のねじ穴位置をけがく。




| 注 意 | 必ず商品の天底の位置を守って施工してください。<br>（逆さ、横置き、寝かせ置きにすると十分な出湯性能が得られません。） |
|---|---|
| | MVHG、MVHF、MVHJ（カウンター）にセットする場合、各施工説明書をご確認のうえけがき位置を決定してください。<br>（電気温水器が取り付かない場合があります） |

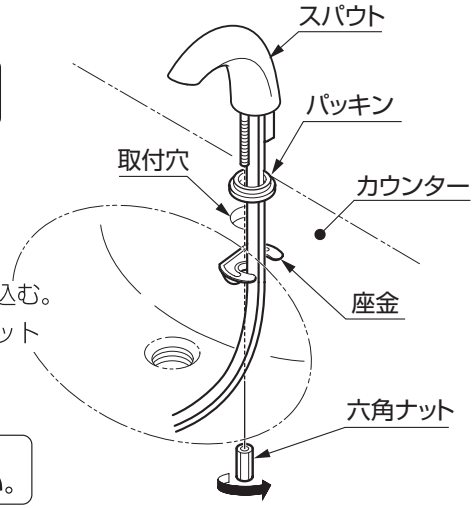
## 2．スパウトの仮締め

| 注 意 | 施工の際は、けが防止のため手袋などを着用して行ってください。 |
|---|---|

### 〈自動水栓の場合（Aタイプ、グースネックタイプ コンテンポラリタイプ）〉

①スパウトを陶器やカウンター取付穴に差し込む。

②吐水口を排水口方向に向け、座金を六角ナットで仮締めする。



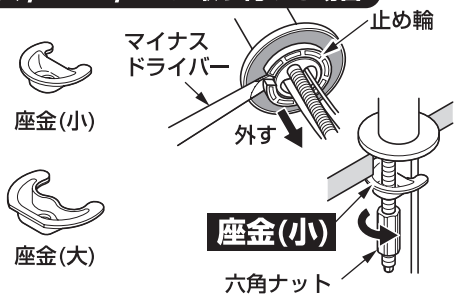

| 注 意 | スパウト連結ホースとコード類をかみ込ませないようにしてください。 |
|---|---|

### コンテンポラリタイプをカウンター取付穴φ25～φ29に取り付ける場合

①スパウト裏側の止め輪を取り外す。

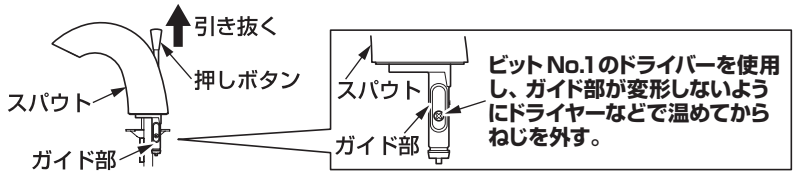
②同梱の座金(小)に取り替える。

| 陶器取付穴 | 止め輪 | 座金 |
|---|---|---|
| φ25～φ29 | 無 | 座金(小) |
| φ35 | 有 | 座金(大) |




### Aタイプをポップアップ式排水金具に接続する場合

スパウトガイド部のねじを外し、押しボタンを引き抜いてください。

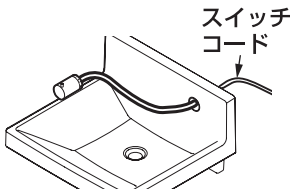



### 〈壁付きタイプの場合〉壁付きタイプの場合、固定まで行う

#### 湯水切替ハンドルの取り付け（湯水切替タイプの場合）

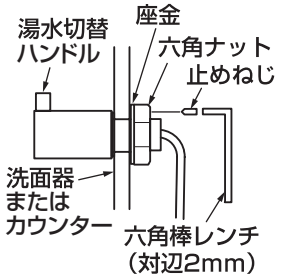
①洗面器（またはカウンター）の取付穴にスイッチコードを通す。

②湯水切替ハンドルを洗面器（またはカウンター）面に密着させ、取付穴背面側から座金を入れ六角ナットでしっかり固定する。




| 注 意 | インデックスのマークが上になるように取り付けてください。 |
|---|---|

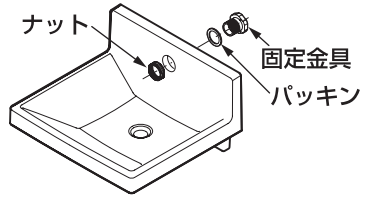
③六角棒レンチ（対辺 2mm）を使用して六角ナット内の止めねじを締め付ける。




#### 固定金具の取り付け

①固定金具にパッキンを取り付け、洗面器（またはカウンター）の取付穴に裏側から差し込む。

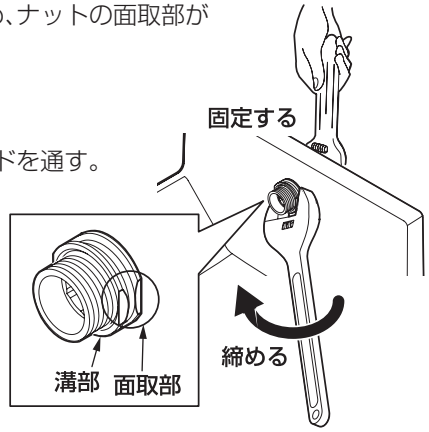
②洗面器（またはカウンター）の表面からナットを取り付け、固定金具を仮固定する。




| 注 意 | 固定金具およびナットを取付穴の中央に取り付けてください。 |
|---|---|

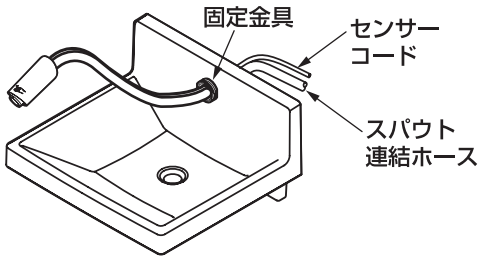
# 9 取付手順（つづき）

③固定金具をスパナで固定し、表面のナットをスパナで回してしっかり固定する。
このとき、止めねじをナットの溝部にとめるため、ナットの面取部が縦になるまで増し締めする。



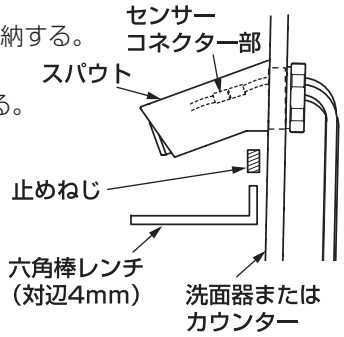

### スパウトの取り付け

①固定金具にスパウト連結ホースとセンサーコードを通す。




②センサーコネクター部をスパウトの内側上部に奥まで収納する。

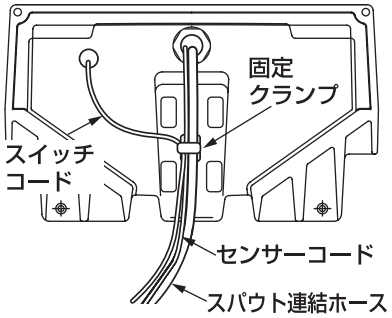
③スパウトを洗面器(またはカウンター)面に密着させ、六角棒レンチ(対辺4mm)を使用して止めねじで固定する。




| | |
|---|---|
| 注 意 | スパウトが洗面器(またはカウンター)に密着しない場合は、センサーコネクターをスパウトの上側の奥まで入れてください。 |

**壁掛洗面器に取り付ける場合**

④付属の固定クランプを洗面器裏面の右図の位置に貼り付けて、センサーコード･スイッチコードおよびスパウト連結ホースを固定する。




| | |
|---|---|
| 注 意 | 固定クランプは貼り付け面の汚れをふきとってから貼り付けてください。 |
| | スパウト連結ホースが折れ曲がらないよう注意してください。 |
| | センサーコード･スイッチコードおよびスパウト連結ホースを洗面器裏面の凹部を通るように引き回してください。 |

⑤洗面器をバックハンガーに取り付け固定する。

| | |
|---|---|
| 注 意 | センサーコードおよびスパウト連結ホースを洗面器と壁の間にかみ込まないよう注意してください。 |

⑥センサーコードおよびスパウト連結ホースのかみ込みがないか確認する。

※陶器形状は設置後容易に見えない部分において異なることがあります。（施工性やその他の機能に影響ありません。）

### 〈タッチスイッチ水栓の場合〉

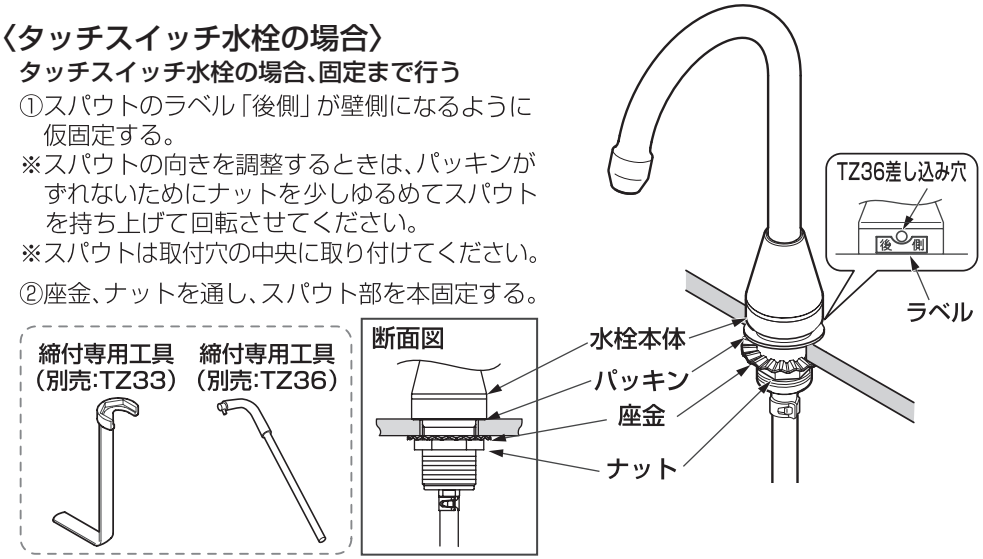
**タッチスイッチ水栓の場合、固定まで行う**

①スパウトのラベル「後側」が壁側になるように仮固定する。

※スパウトの向きを調整するときは、パッキンがずれないためにナットを少しゆるめてスパウトを持ち上げて回転させてください。

※スパウトは取付穴の中央に取り付けてください。

②座金、ナットを通し、スパウト部を本固定する。

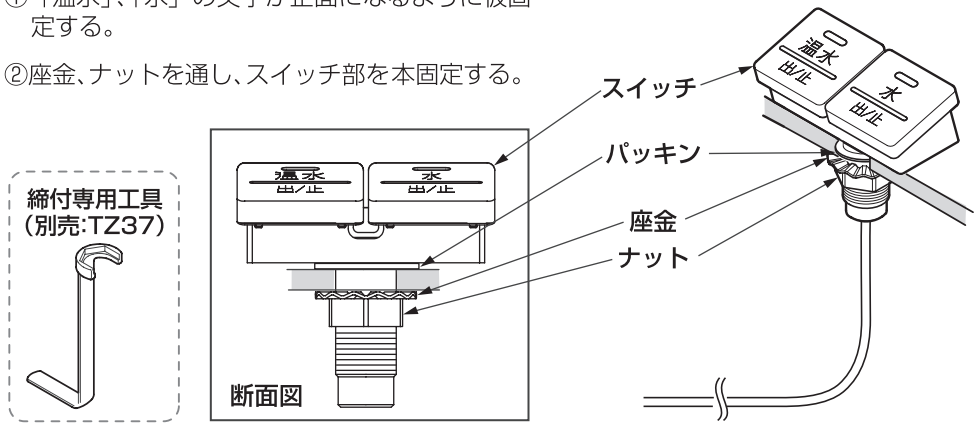



| | |
|---|---|
| 注 意 | パッキンは必ずカウンターの上側に取り付けてください。 |
| | 固定には締付専用工具（別売：TZ33､TZ36)を利用して確実に締め付けてください。 |

## 3．スイッチ部の取り付け（タッチスイッチ水栓のみ）

①「温水」､「水」の文字が正面になるように仮固定する。

②座金、ナットを通し、スイッチ部を本固定する。




| | |
|---|---|
| 注 意 | パッキンは必ずカウンターの上側に取り付けてください。 |
| | 固定には締付専用工具（別売：TZ37）を利用して確実に締め付けてください。 |

# 9 取付手順（つづき）

## 4．電気温水器の設置

| 注 意 | 電気温水器本体を床に直置きすると、傷が付くおそれがあります。<br>梱包の緩衝材を床に敷くなどして作業を行ってください。 |
|---|---|

設置を行う壁に応じて、取り付け前に下記準備を行ってください。

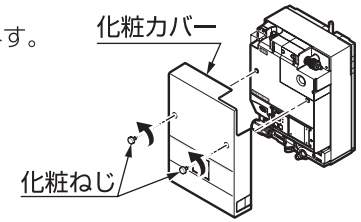
**〈タイルまたはコンクリート壁に取り付ける場合〉**

ねじ穴位置に下穴を開けカールプラグ（現場手配）を打ち込む。
※カールプラグは木ねじ（φ5.1×32）に合うものを手配してください。

**〈木製の壁に取り付ける場合〉**

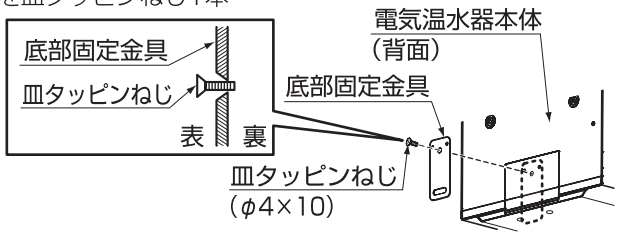
商品満水時の質量（約7Kg）に耐えうる構造（乾式工法の場合、取付強度を保つため、下地に12mm以上のJAS規格合板相当をお使いください）であることを確認し、固定金具を木ねじ2本で固定し底部固定金具を木ねじ1本で固定する。また、必要に応じて壁構造に応じた十分な補強を施す。

①電気温水器本体の化粧カバーを取り外す。（右図参照）




②電気温水器本体に底部固定金具を皿タッピンねじ1本で固定する。

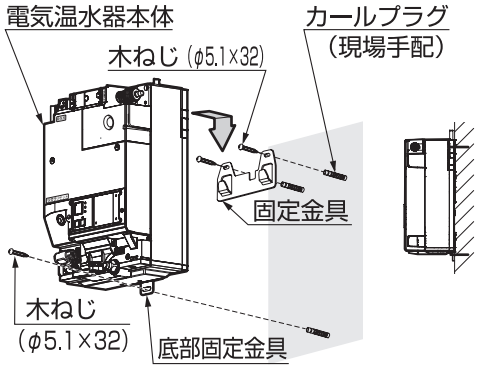
| 注 意 | 電動ドライバーなどを使わずに、手締めをしてください。 |
|---|---|
| | 底部固定金具は表と裏を間違えないようにしてください。 |




③固定金具を位置にあわせて木ねじ2本で固定する。

④固定金具へ電気温水器本体を引っ掛け、底部固定金具を木ねじ1本で固定する。

| 注 意 | 本体が水平になるように取り付けてください。 |
|---|---|
| | 電源コードのかみ込み、エッジ部への接触などに注意してください。 |



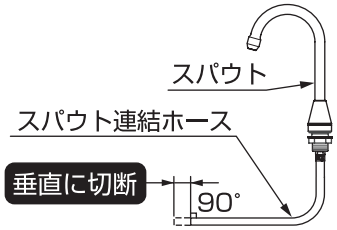

別売品のウィークリータイマー（RHE657R、658R）を取り付ける場合、ここで取り付けを行ってください。
詳しくはウィークリータイマーの施工説明書をご覧ください。

## 5．スパウトと電気温水器との接続

### 5-1．スパウト連結ホースの切断

スパウト連結ホースを電気温水器の接続口に合うように適切な長さに切断する。（400mm以上は確保すること）
ただし、下記注記のような場合はホースを切断しないこと。

※MVHJ（車いす対応洗面昇降タイプ）にセットする場合はホースを切断しないでください。なお、カウンターの施工方法についてはカウンターの施工説明書をご覧ください。
※膨張水処理ユニットをセットする場合はホースを切断しないでください。

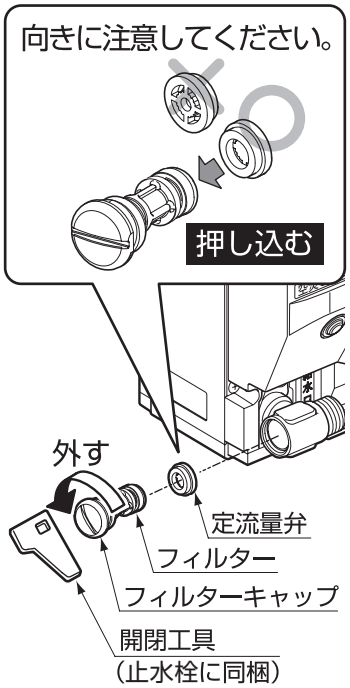



| 注 意 | カッターなどを用い、切断面が垂直になるよう行ってください。 |
|---|---|
| | MVHJ（車いす対応洗面昇降タイプ）にセットする場合は、ホースを切断しないでください。カウンター昇降時にホースが抜け水漏れにつながるおそれがあります。 |

### 5-2．定流量弁の交換

下記組み合わせで使用する場合は、スパウトに同梱されている定流量弁に必ず交換してください。
交換しないと吐水流量が不足して手洗いがしにくくなります。

| 電気温水器 | スパウト | | |
|---|---|---|---|
| | タイプ | 形状 | 品番 |
| REAH03型 | 壁付きタイプ | | TEN120ABH型 |
| | | | TEN120AH型 |
| REAM03型 | | | TEN122AH型 |
| REAK03型<br>RECK03型 | グースネックタイプ | | TEN84GH型 |
| | | | TEN85GH型 |
| RECK03型 | タッチスイッチタイプ | | TLN22TE型 |




①フィルターキャップを止水栓に同梱している開閉工具で左に回して外す。
②フィルター先端についている定流量弁を取り外し、スパウトに同梱されている定流量弁を取り付ける。
③フィルターキャップを取り付ける。

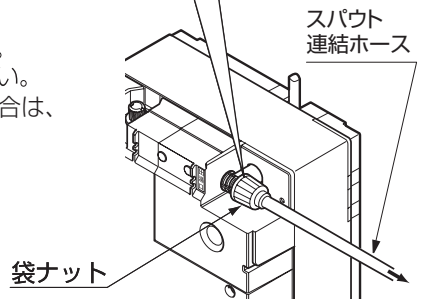
## 5-3．スパウト連結ホースの接続

**袋ナット仕様の場合**

①スパウト連結ホースに袋ナットを通す。
②ホースを出湯口に差し込む。
③袋ナットを **手で締め付ける。**

※ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
※ホースが折れ曲がることのないように注意してください。
※MVHJ（車椅子対応洗面昇降タイプ）にセットする場合は、カウンターの施工説明書をご覧ください。
※必ず袋ナットでホースを固定してください。

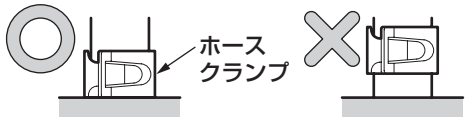
**注 意**　袋ナットは手で締め付けてください。（工具で締め付けると袋ナットが破損し、水漏れするおそれがあります。）

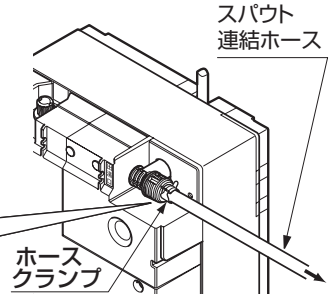



**ホースクランプ仕様の場合**

①スパウト連結ホースにホースクランプを通す。
②ホースを出湯口に差し込む。
③ホースクランプでホースを固定する。
※ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
※ホースが折れ曲がることのないように注意してください。
※ホースクランプは所定の位置にくるようにしてください。
※必ずホースクランプでホースを固定してください。

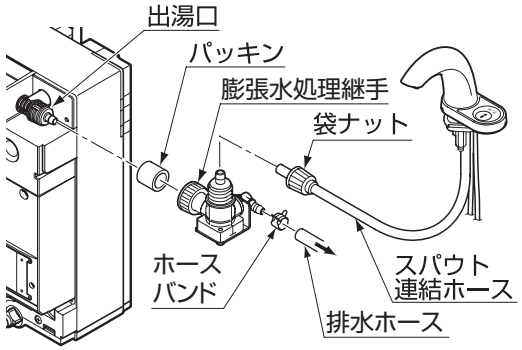
**注 意**　ホースクランプがホース継手の上面に付くこと




### 別売品の膨張水処理ユニットを取り付ける場合

膨張水処理継手を取り付けてから、スパウト連結ホースを取り付けてください。
※詳しくは膨張水処理ユニットの施工説明書をご覧ください。



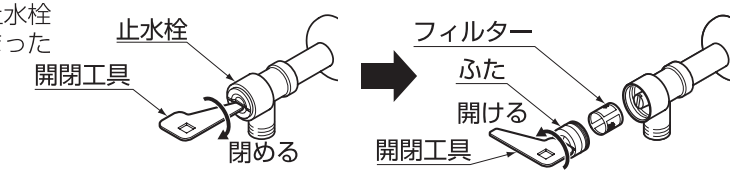

## 6．給水管の接続

**⚠ 注意**

**給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開け、バケツ２杯（約 20L）程度の水を捨てる**
フィルターを通ったゴミが機器内に入り､故障､水漏れや流量不足の原因になります。

**フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う**
水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

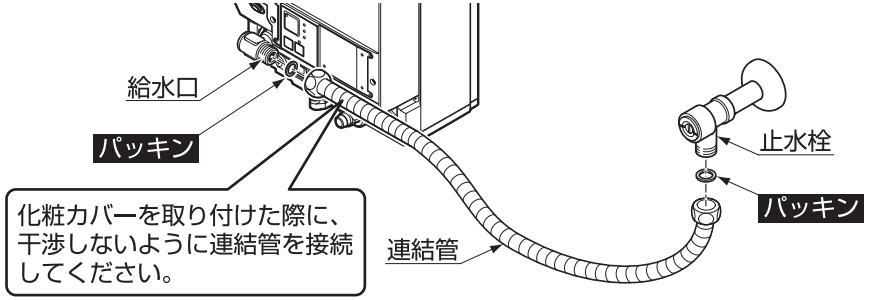
給水口に接続する前に止水栓フィルターの網目に詰まったゴミなどを取り除く。




止水栓と給水口を連結管で接続する。

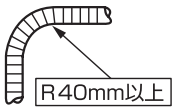
**注 意**
電気温水器と止水栓の接続はフレキシブル管を使用してください。
（鋼管などで接続されるとシール剤などが内部に入り動作不良を起こす場合があります。）
必ずパッキン（図示）を入れてください。

建築躯体側の配管接着剤が乾燥していない状態で電気温水器を取り付けないでください。
（接着剤が乾いていない状態で湯を通すと湯がにおうことがあります。
必ず接着剤が乾いていることを確認してから取り付けてください。）



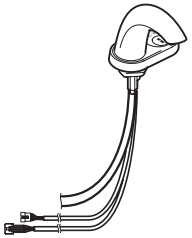

化粧カバーを取り付けた際に、干渉しないように連結管を接続してください。

**注 意**　連結管は､極端に折らないでください。（R40mm以上は確保してください。）

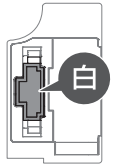


## 7. コードの接続

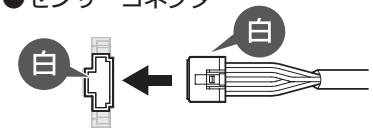
①スパウトのセンサーコネクターとスイッチコネクターを電気温水器本体のコネクターに接続する。



〈REAH03 型〉

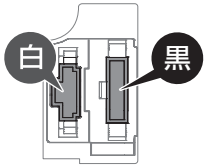



●センサーコネクター

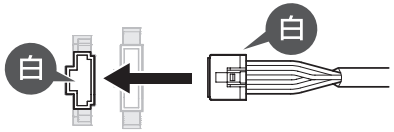



コネクターに接続する

〈REAK03 型〉

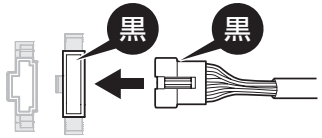



●センサーコネクター



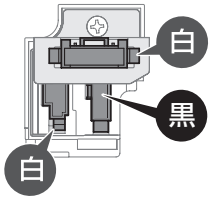

左側のコネクターに接続する

●スイッチコネクター



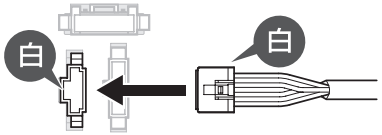

右側のコネクターに接続する

〈RECK03 型〉



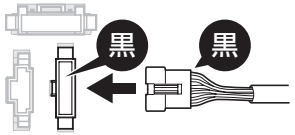

①自動水栓の場合

●センサーコネクター




左側のコネクターに接続する

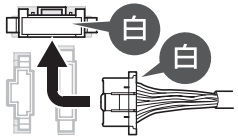
●スイッチコネクター




右側のコネクターに接続する

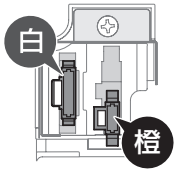
②タッチスイッチ水栓の場合

●スイッチコネクター

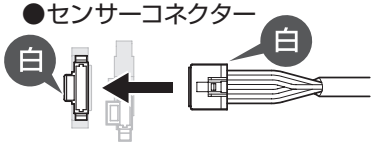



上側のコネクターに接続する

〈REAM03 型〉

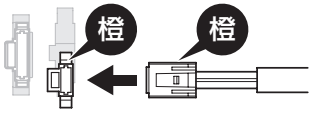



●センサーコネクター




左側のコネクターに接続する

●スイッチコネクター




下側のコネクターに接続する

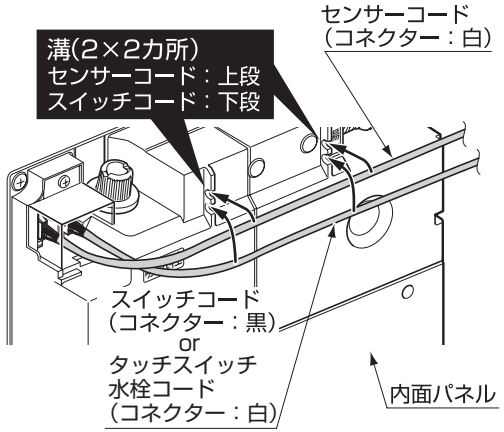
**注 意** コネクターはカチッと音がするまで確実に差し込んでください。

## 7. コードの接続（つづき）

②接続したセンサーコードとスイッチコードを内面パネルの溝にはめ込み、コードを固定する。

〈湯水切り替えタイプの場合〉
REAK/M03/RECK03 型のコードは２本です。※1
●センサーコード（4芯） ●スイッチコード（6芯）※2
※1：RECK03（タッチスイッチ水栓セット）のコードは1本です。
※2：スパウトが壁付きタイプの湯水切り替えハンドル付きの場合、スイッチコードは２芯です。

〈適温出湯タイプの場合〉
REAH03型のコードは1本です。
●センサーコード（４芯）




## 8. 電気工事について

**⚠ 警告**

| | |
|---|---|
| 🚫 | **指定する電源以外では使用しない**<br>ヒーターの断線・火災などの原因になります。 |
| ⏚ | **電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D 種接地工事 100Ω以下）工事を行う**<br>誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。 |
| ❗ | **漏電遮断器を取り付ける**<br>感電や火災の原因になります。 |

1）電源が規定の電圧であることを確認する。
※規定の電圧以外での使用は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。
2）接地極付電源プラグになっていますので、必ず、対応したコンセント工事と電源容量を確保する。

| 代表対応コンセント | 電　圧 | 消費電力 |
|---|---|---|
| パナソニック：WK3001W（露出型） WF3002WK（埋込み型） | AC100V | 0.6kW |

※MVHJ（車いす対応洗面昇降タイプ）にセットする場合は、MVHJの施工説明書に従ってコンセントを設置してください。

## 9. センサー内ランプの確認（タッチスイッチ水栓以外）

### 9-1. 電源プラグをコンセントに差し込む（タッチスイッチ水栓以外）

**⚠ 注意**

🚫 **タンク内が満水になっていないときは、絶対に「沸上げ運転（電源）」スイッチを入れない**
空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

**注 意** 電源が入るとただちにスパウトセンサーの感知距離を自動設定するため、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。（約20秒間でこの動作は完了します。）

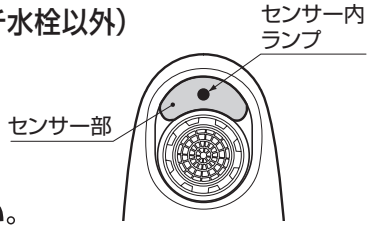
# 9 取付手順（つづき）

### 9-2．センサー内ランプの確認（タッチスイッチ水栓以外）

センサー内に手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしない状態で、スパウト先端のセンサー内ランプが 点滅していない ことを確認する。

※もしも点滅していれば、スパウトの向きを少し変え、点滅しないところに調整してください。

**●確認が終わったら電源プラグを抜いてください。**



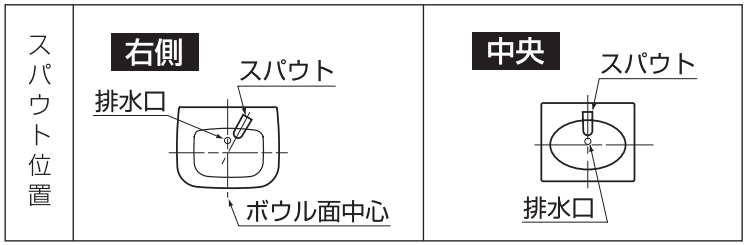

| 注 意 | 陶器の種類によっては、センサー内ランプの点滅が消えないことがありますが、その場合はそのまま設定してください。（ランプの点滅は10分後に消えます。） |
|---|---|

※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。自動消滅するまでにスパウトの向きの調整作業が完了しなかった場合は、センサーコネクター（白）を一度抜き、差し込み直してください。

### 10．スパウトの固定（壁付きタイプおよびタッチスイッチ水栓以外）

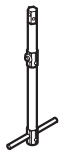
六角ナットを締め付け、スパウトを陶器に固定する。

| 注 意 | スパウトを固定する際は、必ず陶器のボウル面中心に向けてください。 |
|---|---|




※六角ナットの締付用として、別売で専用工具（TZ40L）を準備しておりますが、下記の一般工具でも取付可能です。

・ソケットレンチ（対辺13㎜）
・T型レンチ（対辺13㎜）
・ナットスピンナーハンドル（対辺13㎜）

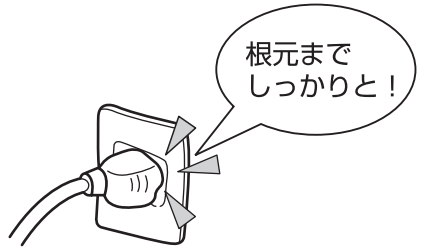



# 10 試運転

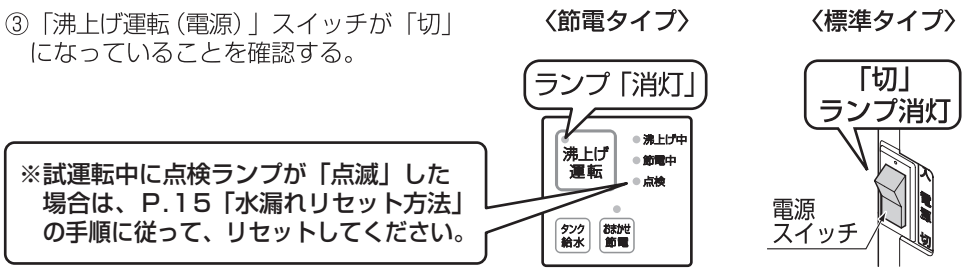
| ⚠ 注 意 | |
|---|---|
| | **タンク内が満水になっていないときは、絶対に「沸上げ運転（電源）」スイッチを入れない**<br>空焚きとなり、故障や事故の原因になります。 |

①付属の開閉工具で止水栓を開ける。

②電気温水器の電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込む。




③「沸上げ運転（電源）」スイッチが「切」になっていることを確認する。



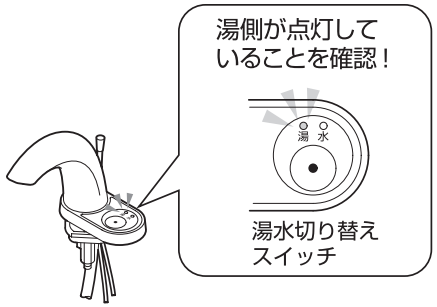

**※試運転中に点検ランプが「点滅」した場合は、P.15「水漏れリセット方法」の手順に従って、リセットしてください。**

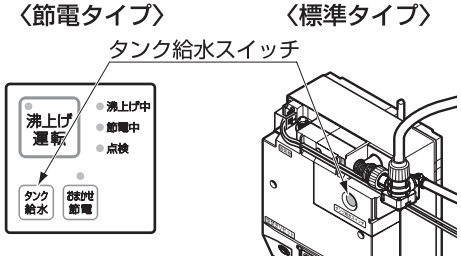
| 注 意 | 給水管に塩ビ管を使用している場合は、接着剤が完全に乾いてから通水してください。（水からにおいがするおそれがあります。） |
|---|---|
| | 止水栓が開いた状態で電気温水器の電源プラグをコンセントに差し込むと5秒間吐水する場合がありますが、異常ではありません。 |

# 10 試運転（つづき）

④タンク給水スイッチを押してタンクを満水にする。

| | |
|---|---|
| 注意 | 節電タイプの場合、電源プラグをコンセントに差し込んだあと、約10秒待ってタンク給水スイッチを押してください。 |
| | スパウトに湯水切り替えスイッチ、湯水切り替えハンドルがある場合は湯側にしていることを確認のうえ、タンク給水スイッチを押してください。<br>**（水側になっている状態ではタンク給水スイッチを押しても、タンクへの給水を行いません。）** |



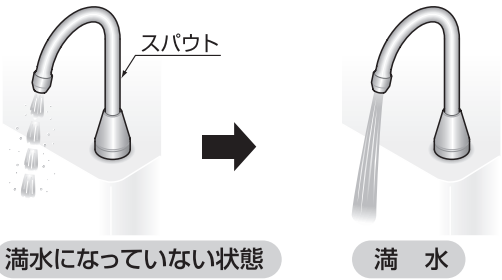

## 空焚き禁止

（タンクが満水になる前に「沸上げ運転（電源）」スイッチを「入」にしない）

タンク給水中は、空気を巻き込んだ状態でスパウトから断続的に吐水します。

満水状態になると吐水状態は安定します。（満水になったら、再度タンク給水スイッチを押し、水を止めてください。）

**※万一、空焚きした場合には P.14「空焚きリセット方法」の手順に従って、リセットしてください。**




**満水になるまでに約２分～４分程かかります。（セットするスパウトにより満水になるまでの時間が異なります。）**

| | |
|---|---|
| 注意 | タンク給水スイッチを押すと約5分間連続して水が出ます。（途中で再度スイッチを押すと、水は止まります。）約1分間しか水が出ない場合は電源プラグをコンセントより抜いて、5秒程度してから再度、電源プラグをコンセントに差し込み、タンク給水スイッチを押してください。 |
| | 吐水状態が安定する前に水が止まったら、再度タンク給水スイッチを押して水の出方を安定させ、タンクを満水にしてください。 |

⑤スパウトの動作確認をする。

⑤－1. 自動水栓の場合

**＜センサーを使った場合＞**

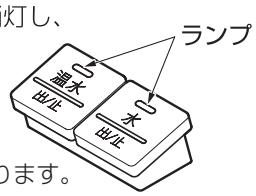
・吐水口に手を近づけると水が出ます。
・手を離すと約1～2秒後に水が止まります。
・手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。
・センサー前面から感知する位置に手をかざしたままにすると、その間（約1分間）連続して水がでます。
（センサー感知は学習方式のため、手を動かさないままでいると約15秒で水が止まります。）

**＜手動スイッチ付きを使った場合＞**

・スイッチを押すと水が出ます。
・もう一度押すと止まります。
・約60秒間(RECK型は30秒間)連続して水が出ると自動的に止まります。
※電源プラグをコンセントに差し込んだあと、手動スイッチを押すと、最初の3回は1分以上水が出ることがありますが、もう一度スイッチを押すと水が止まります。
※膨張水処理ユニット取り付けの場合、吐水時に膨張水処理ユニットより排水されることがありますが、故障ではありません。

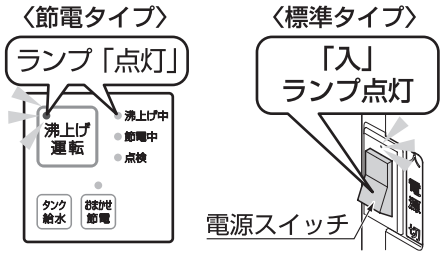
⑤－2. タッチスイッチ水栓の場合

・「温水」または「水」スイッチを押すと、押した方のスイッチのランプが点灯し、スパウトから温水（または水）が出ます。
・ランプが点灯しているスイッチをもう一度押すと、ランプが消灯し、温水（または水）が止まります。
・スパウトから吐水している状態で、ランプが点灯していないスイッチを押すと、押した方のスイッチのランプが点灯し、湯水が切り替わります。
・約60秒間(RECK型は30秒間)連続して水が出ると自動的に止まります。




⑥配管接続部に水漏れがないか確認する。
※必ず化粧カバーが外れている状態でご確認ください。

⑦「沸上げ運転（電源）」スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。




### スパウトからポトポト滴下する水について

沸き上げ中はスパウトから湯が出ます。
これはタンク内部の膨張水を排出しているもので、故障ではありません。
沸き上げが終わると、膨張水の排出は止まります。

# 10 試運転（つづき）

⑧沸かし上がると、沸上げ中ランプ（節電タイプ）および電源スイッチのランプ（標準タイプ）が消灯します。

⑨スパウトから出湯させ、流量を確認する。（方法は「⑤スパウトの動作確認をする」を参照）
電気温水器内部に定流量弁を内蔵しているため、基本的には流量の調整は不要です。
止水栓は全開にてご使用ください。
ただし、圧力が低い場所では流量が不足する場合がありますので、下記方法にて流量を調整してください。

## 流量調節方法

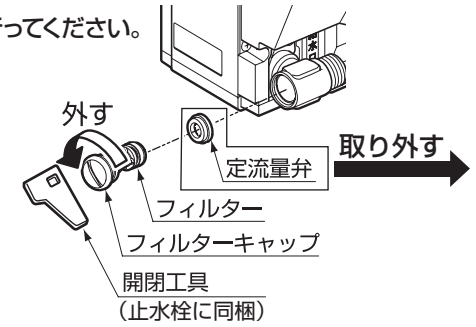
**※流量が不足する場合のみ、下記作業を行ってください。**

①開閉工具で止水栓を閉める。

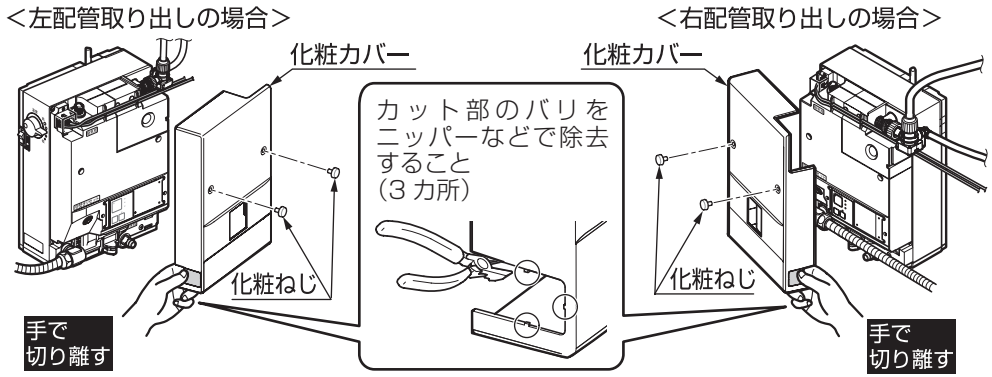
②開閉工具でフィルターキャップを外し、定流量弁を取り外す。

③開閉工具でフィルターキャップを本体に取り付ける。
※フィルターキャップの取り付けは確実に行ってください。

④止水栓を開け、流量調節をする。




⑩化粧カバーの連結管取り出し部分を切り離し、化粧カバーを取り付ける。




| 注意 | |
|---|---|
| | 化粧カバーを取り付ける際は、コードがかみ込まないように注意してください。 |
| | 化粧カバーに傷を付けないよう注意してカットしてください。 |
| | カット部のバリでけがをしないように注意してください。 |

**＜沸き上がり時間の目安＞**

| 給　水　温　度 | 5℃（冬） | 15℃（春・秋） | 25℃（夏） |
|---|---|---|---|
| 沸き上がり時間の目安 | 約21分 | 約18分 | 約15分 |

## 空焚きリセット方法〈節電タイプ〉

※万一空焚きした場合は、操作部のランプが点滅または点灯します。
その場合は、以下の手順で空焚きをリセットしてください。

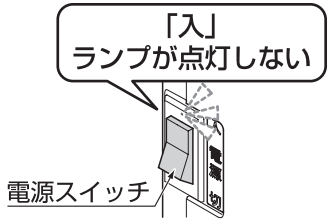
| 操作部のランプ表示 | ランプ 1 回点滅（繰返し） | ランプ 1 回点滅（繰返し）<br>ランプ「点灯」 |
|---|---|---|
| 処置 | ①止水栓が開いていることを確認する。<br>②「タンク給水」スイッチを押す。<br>※点滅が解除され、タンクに水が給水されます。<br>③タンク内が満水になったことを確認する。<br>（P.13「試運転」④を参照）<br>④「沸上げ運転」スイッチを押し、「入」にする。<br>※沸上げ運転が開始されます。 | ①止水栓が開いていることを確認する。<br>②電源プラグを抜く。<br>③タンク内の温度を下げるため、約20分そのままにしておく。<br>④化粧カバーを外す。<br>⑤空焚きリセットボタンを押す。<br>⑥化粧カバーを取り付ける。<br>⑦電源プラグをコンセントに差し込む。<br>⑧約10秒待ち、「タンク給水」スイッチを押す。<br>⑨タンク内が満水になったことを確認する。<br>（P.13「試運転」④を参照）<br>⑩「沸上げ運転」スイッチを押し、「入」にする。<br>※沸上げ運転が開始されます。 |

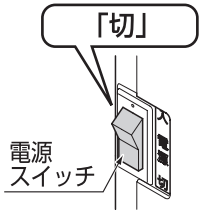
## 空焚きリセット方法〈標準タイプ〉

※万一空焚きした場合は、電源スイッチを「入」にしてもランプが点灯しません。
その場合は、以下の手順で空焚きをリセットしてください。

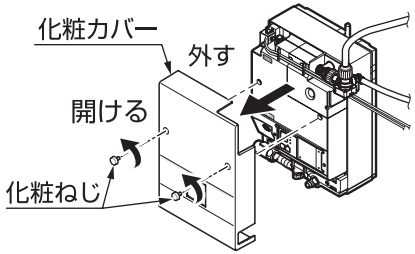
①止水栓が開いていることを確認する。

②電源スイッチを「切」にする。

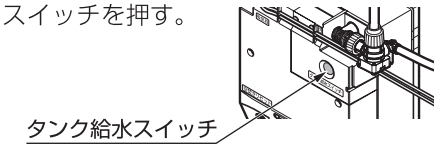



③化粧カバーを外す。




④「タンク給水」スイッチを押す。




⑤タンク内が満水になったことを確認する。
（P.13「試運転」④を参照）

⑥空焚きリセットボタンを押す。

⑦化粧カバーを取り付ける。

⑧電源スイッチを「入」にする。
※沸上げ運転が開始されます。

## 水漏れリセット方法

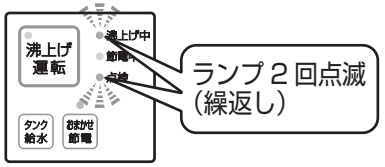
〈節電タイプのみ〉

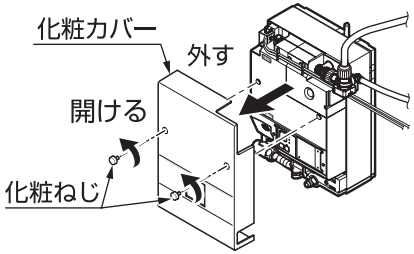
※万一水受けトレイに水が入ると、「沸上げ中」「点検」のランプが同時に点滅し、ブザーが鳴ります。そのときは、以下の手順で水漏れ検知機能をリセットしてください。

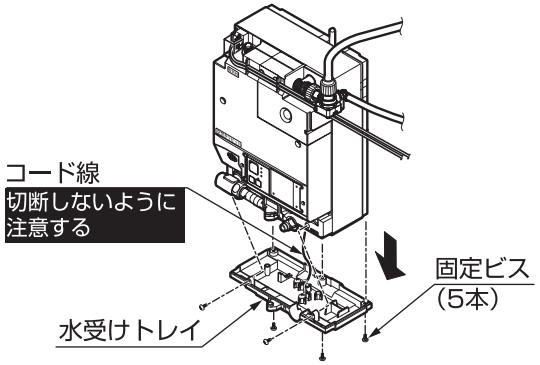
①電源プラグを抜き、ブザーが鳴り止むまでお待ちください。（10秒程度）

②水漏れの原因を調べて対応してください。

③化粧カバーを外し、水受けトレイを下側に外す。




④トレイ内にたまった水を捨てたあと、乾いた布などでトレイをふいてください。

⑤機台内・機台外からの水漏れがないことを確認したあと、水受けトレイを元の位置に戻し、固定ビスを締める。

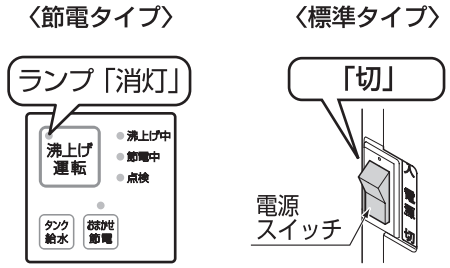
⑥化粧カバーを取り付ける。

**注 意** 化粧カバーを取り付ける際は、コードがかみ込まないように注意してください。

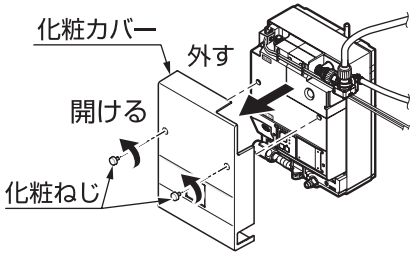
# 11 水抜き方法

試運転後、引き渡しまで長期間使用しない場合は、次の要領で機器内の水を抜いてください。

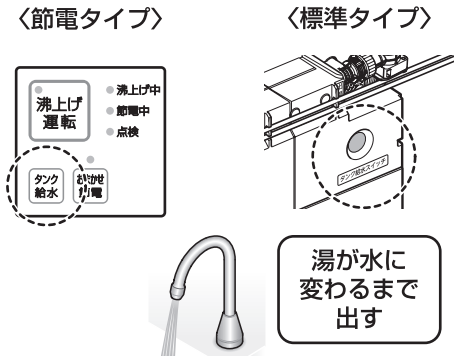
①「沸上げ運転（電源）」スイッチを「切」にする。



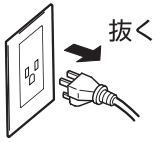

②化粧カバーを外す。



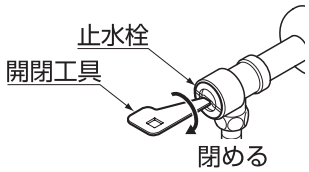

③タンク給水スイッチを押してスパウトより湯を出し、タンク内の湯が水になるまで完全に出し切る。
※途中で湯の温度を確認し、スパウトから水が出るまで湯を出してください。
※水が出る前に湯が止まったら再度タンク給水スイッチを押し湯を出し切ってください。
※水になったら再度タンク給水スイッチを押し、吐水を止めてください。




④電源プラグを抜く。




⑤止水栓に付属の開閉工具で止水栓を閉める。

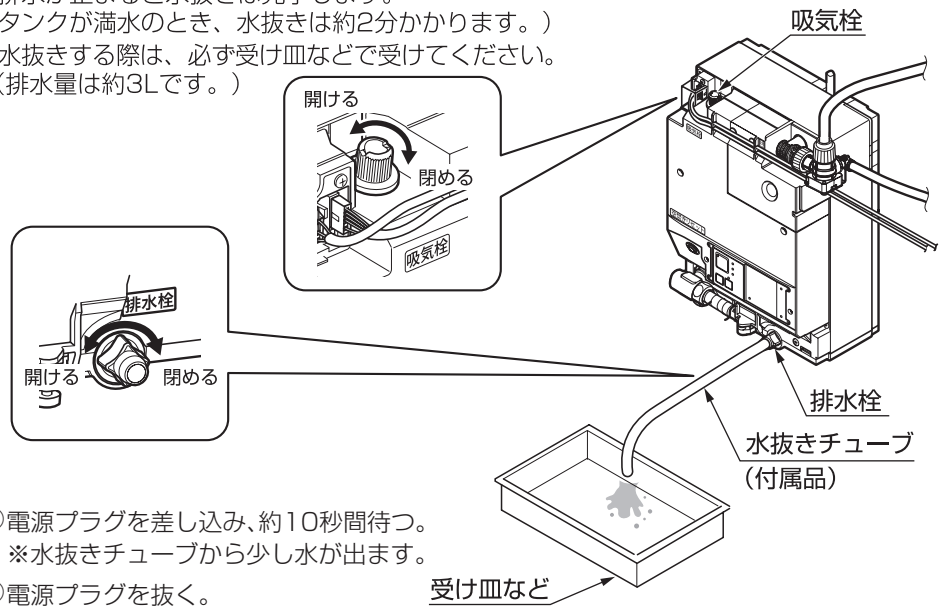



⑥下部にある排水栓に付属の水抜きチューブを差し込み、左に回し、電気温水器上部にある吸気栓を左に回して取り外す。

**⚠ 注意**

**吸気栓に触れるときは、タンク内の湯を出し切って水になっていることを確かめてから行う**
やけどをするおそれがあります。

※排水が止まると水抜きは完了します。
（タンクが満水のとき、水抜きは約2分かかります。）
※水抜きする際は、必ず受け皿などで受けてください。
（排水量は約3Lです。）




⑦電源プラグを差し込み、約10秒間待つ。
※水抜きチューブから少し水が出ます。
⑧電源プラグを抜く。

# 12 水抜き後の処理

①排水栓を閉める。
②吸気栓を取り付けて閉める。
※排水栓、吸気栓が閉められていないと、スパウトからの吐水時に水が飛び出します。
③化粧カバーを取り付ける。

**⚠ 注意**

**当商品は寒冷地対応品ではないため、凍結のおそれのある場合は、必ず凍結予防処置（保温材巻、電気ヒーターなど）を行う**
凍結破損し水漏れするおそれがあります。